

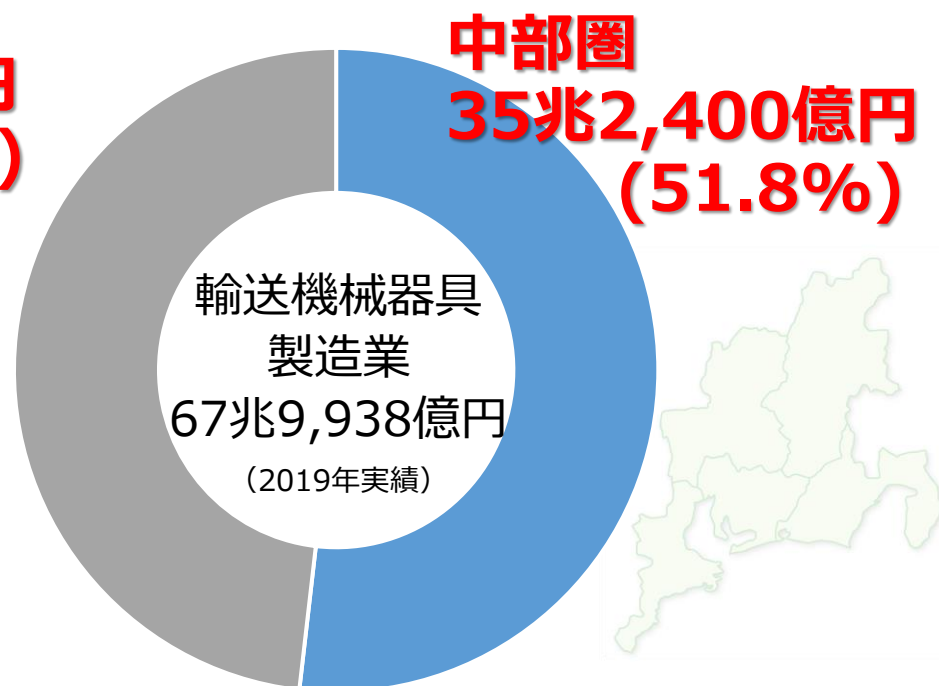
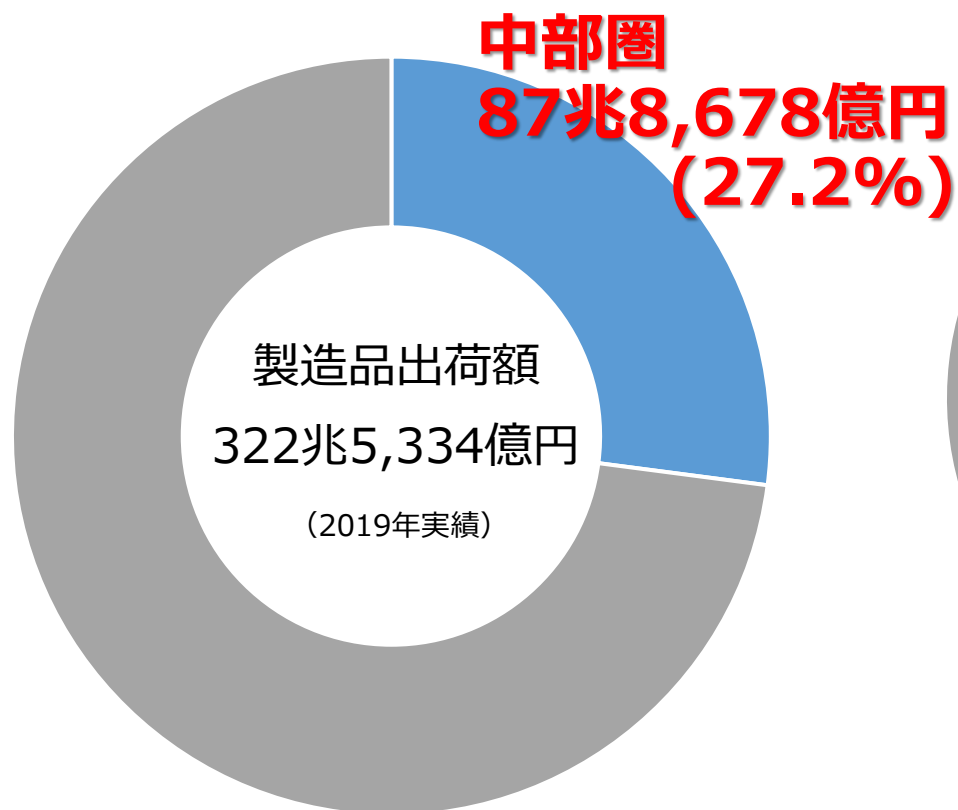
Map-NAGOYA 概要説明

(次世代モビリティ社会実装を目指した取り組み)



2023年3月23日
中部経済連合会 産業振興部
佐々木彰一

中部圏の製造業・自動車産業が日本を支える（現況）



モビリティ事業に迫った「100年に一度の大変革」

CASE

Conconnected (接続性)
Autonomous (自動運転)
Shearing (共有)
Electrified (電動化)



(トヨタ自動車HPより)

MaaS

Mobility **a**s **a** **S**ervice
(クルマは移動サービスの一部になる)

MONETプラットフォームで実現する“つながる社会”



(モネテクノロジーズ資料より)

モビリティ事業「100年に一度の大変革」への対応策

どう対応すべきか？

**中部圏が100年に一度の大変革に順応して生き残り、
成長発展することが日本経済の生命線**



**次世代モビリティ社会の本格的な社会実装の場を
中部圏に興すことがポイント**

- ◆ クルマを必要とする地域に相応しい次世代モビリティのパッケージを
創出し、他地域、そして海外に売り込んでいく
- ◆ モビリティ変革を肌で感じた地元企業(Tier2・3)が自ら変革を推進

中経連の取り組み①課題意識の高揚・共有のためイベント

ピッチ&フォーラム『モビリティの未来』 第1回：2020.1.30 第2回：2020.11.16



2021.5 CAMIP立上げ後の活動

2021.11.2 第2回 CAMIP報告会

- ・活動報告・・・COI-NEXTについて 名大森川教授
- ・事例紹介・・・(株)エネファント、(株)アイシン、(株)十六銀行

2022.3.10 第3回 CAMIPシンポジウム

「地域を変えるパーソナルデータ利活用の世界
～MaaS×情報銀行の可能性～」

- ・自民党デジタル社会推進本部長平井氏による基調講演
- ・静岡大学、中部電力(株)、(株)MaaS Tech Japanによる講演
およびパネルディスカッション

NAPP (Nagoya Access Point Project)

NAGOYA
ACCESS
POINT
PROJECT

・・・モビリティ軸のスタートアップ活動
(派生も含め5回開催)

イベント名	開催日	テーマ
NAPP EVENT #1	2021.4.7	Mobility & Sustainability
CENT Pitch 拡大版 #1	2021.7.14	(全国の大学発スタートアップを発信)
NAPP EVENT #2	2021.8.19	Mobility & Carbon Neutral
CENT Pitch 拡大版 #2	2021.11.11	(東海地方のスタートアップを発信)
NAPP EVENT #3	2021.12.15	Mobility & Carbon Neutral

中経連の取り組み①課題意識の高揚・共有のためイベント

ピッチ&フォーラム『モビリティの未来』 第1回：2020.1.30 第2回：2020.11.16



「Map-NAGOYA」(Mobility Access Point Nagoya) にリニューアル

ースタートアップのみならず、中部圏のリアルテック・ディープテックに長けた大学・公的研究機関などの本格研究テーマも含めた加えたマッチング推進
ー国際的なモビリティ・イノベーションの拠点化を目指した活動の推進

今後頻度高くイベントを開催予定

NAPP (Nagoya Access Point Project)

NAGOYA
ACCESS
POINT
PROJECT

・・・モビリティ軸のスタートアップ活動
(派生も含め5回開催)

イベント名	開催日	テーマ
NAPP EVENT #1	2021.4.7	Mobility & Sustainability
CENT Pitch 拡大版 #1	2021.7.14	(全国の大学発スタートアップを発信)
NAPP EVENT #2	2021.8.19	Mobility & Carbon Neutral
CENT Pitch 拡大版 #2	2021.11.11	(東海地方のスタートアップを発信)
NAPP EVENT #3	2021.12.15	Mobility & Carbon Neutral

(ご参考) 第1回 Map-NAGOYA

2022年12月21日 13:00ー16:00 @ナゴヤイノベーションズガレージ

第1部 CAMIP & Map-NAGOYA・COI-NEXTの紹介 13:00～14:25

- (1) CAMIP・Map-NAGOYAの概要説明(事務局より)
- (2) COI-NEXT「地域を次世代につなぐマイモビリティ共創拠点」について
名古屋大学 未来社会創造機構 教授 森川 高行 氏
- (3) COI-NEXTプロジェクト紹介「快適で低コストな中量輸送システムPRTの構想」
ヤマハ発動機株式会社 技術戦略部 技術戦略グループ 穴本 隆幸 氏

第2部 CAMIP & Map-NAGOYA 14:35～16:00

(モビリティ関係プロジェクトや研究テーマ・シーズの紹介)

- (1)「名古屋大学におけるダイナミックマップ技術への取り組み」
名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ社会研究所長 教授 高田 広章 氏
- (2)「電界結合方式によるワイヤレス給電技術の紹介」
(株)パワーウェーブ 代表取締役 阿部 晋士 氏
- (3)「産総研中部センターのモビリティ関係研究テーマの紹介」
産業技術総合研究所中部センター イノベーションコーディネータ 吉村 和記 氏
- (4)「静岡県湖西市における企業シャトルBaaS実証実験について」
豊橋技術科学大学 都市・交通システム研究室 准教授 杉木 直 氏

第3部 ネットワーキング 16:00～17:00



Map-NAGOYA
Mobility access point NAGOYA

中経連の取り組み②CAMIPを設立、活動開始

中部先進モビリティ実装プラットフォーム



(**C**hubu **A**dvanced **M**obility **I**mplementation **P**latform, **CAMIP**)

自動車産業の世界的中心地、中部圏において
・CASE/MaaS革命を地域に実装し社会に還元
・研究開発促進のための産学官プラットフォーム構築



中経連会員企業、自治体、大学・、研究機関が連携、
組織マッチングやモビリティ共通基盤の開発を実施
(幹事役は中経連と名大モビリティ社会研究所)

3つの取り組み

- ①地域や風土に応じた「モビリティまちづくり」の企画・設計
- ②「モビリティまちづくり」を社会実装し、パッケージを進化
- ③ビジネスモデルや要素技術を自らイノベーション

自治体 A

実装PJ A

自治体 B

実装PJ B

国

- 各地域の特性にあわせた実装プロジェクトの遂行
- 共通基盤の構築
 - ▶ 共通基盤モビリティ
 - ▶ 結節点基本仕様
 - ▶ エネルギー供給システム
 - ▶ 共有データ基盤

自治体 C

実装PJ C D

自治体 D

中部先進モビリティ実装プラットフォーム

民間企業

名古屋大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、
岐阜大学、静岡大学、愛知県立大学、
名城大学、大同大学、豊田都市交通研究所

(ご参考) モビリティ社会実装・実証実験の現状

凡例

- 自動運転
- デマンド交通 ※1
- ◆ シェアリング ※2
- ★ MaaSアプリ

大：社会実装済み

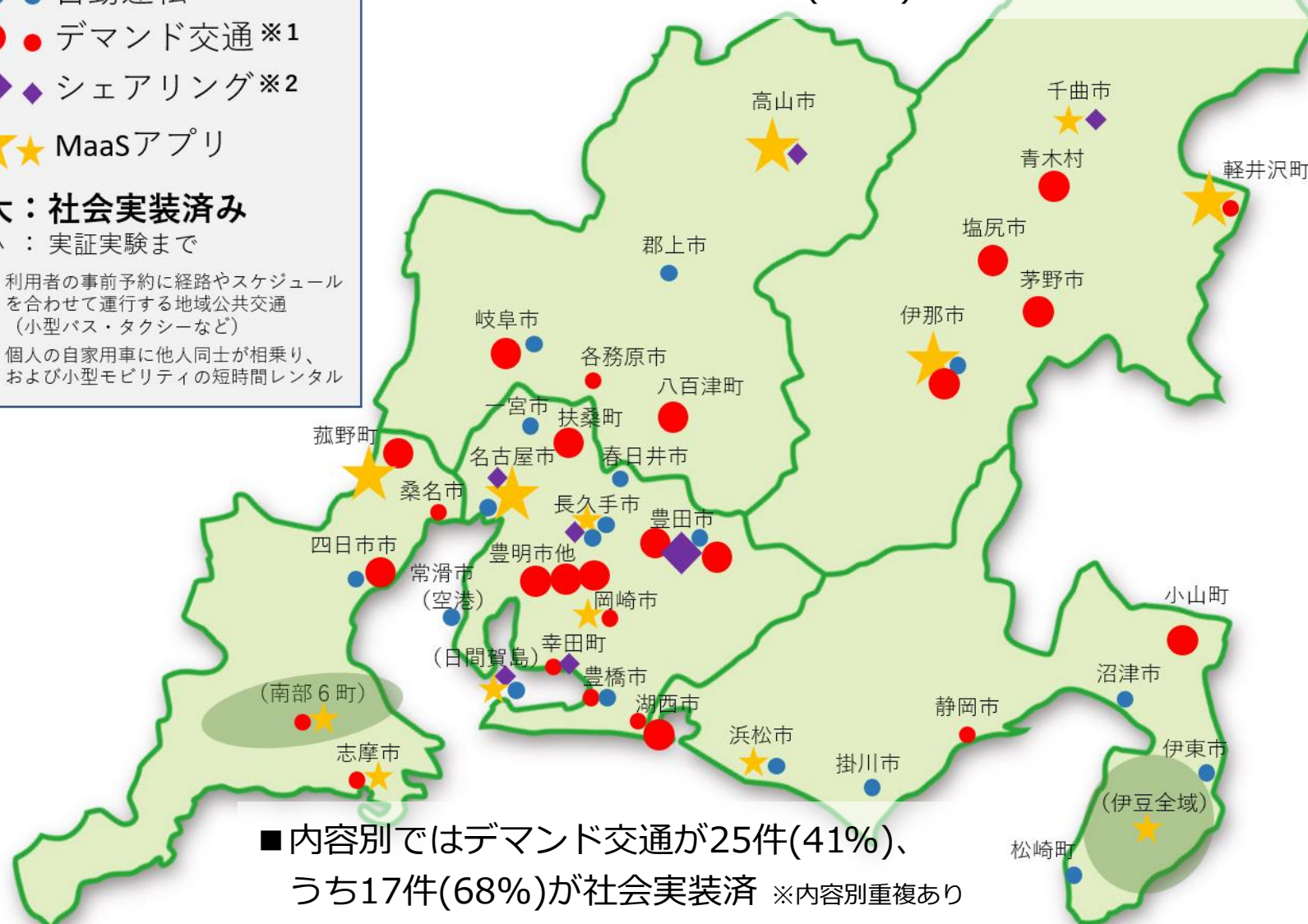
小：実証実験まで

※1 利用者の事前予約に経路やスケジュールを合わせて運行する地域公共交通（小型バス・タクシーなど）

※2 個人の自家用車に他人同士が相乗り、および小型モビリティの短時間レンタル

■ 中部5県で計54件実施、47件(87%)が行政主導。

■ 県別では愛知県が25件(46%)。 ※2022年10月作成



■ 内容別ではデマンド交通が25件(41%)、うち17件(68%)が社会実装済 ※内容別重複あり